

大阪経済法科大学
2018 年度卒業時アンケート
結果報告書

1 2018年度卒業時アンケートの概要

(1) 目的

2018年度卒業生に対して、大学生生活の総合満足度や学修成果に係る自己評価に関するアンケート調査を実施し、各学部における卒業生の自己評価や学士課程全体の教育効果を検証する一助とする。

(2) 実施概要

- ① 実施方法：卒業生に対してアンケート用紙を配布・回収
- ② 実施日：2019年3月18日（月）
- ③ 実施対象：2018（平成30）年度卒業生

(3) 回答率

全学科合計：89%（回答者532名／卒業生595名）

- 経済学部経済学科 93%（回答者170名／卒業生182名）
- 経済学部経営学科 83%（回答者149名／卒業生180名）
- 法学部法律学科 91%（回答者213名／卒業生233名）

(4) 集計・分析結果（概要）

- 「学生生活への満足度」について「満足」または「やや満足」を選んだ卒業生は、経済学部経済学科85%・経営学部経営学科82%・法学部法律学科74%で、多数の卒業生は一定の満足感をもって本学を卒業したといえる。

- 「在学中の学修を通じて知識・能力がどの程度身についたか」については、全学科とも、総じて70～80%の卒業生が、いずれの項目についても「身についた」「やや身についた」と回答。多数の卒業生は、本学での学修を通じて知識・能力を高めることができたと感じている。一方、「どちらともいえない」「あまり身に付かなかった」「身に付かなかった」と回答した卒業生も20～30%おり、この点については個々の項目毎に検討が必要。

- 「最も有意義だった学修活動」（自由記述）については、ゼミについての記述が多く、その他アクティブラーニング型の授業（BLP・経営実践等）、Sコース、学生研究発表大会、就活キャンプなどが挙げられた。

2. アンケート結果

(1) 経済学部経済学科

Q1. 大阪経済法科大学における学生生活にどの程度満足していますか。

項目	人数	割合
① 満足	76	46%
② やや満足	65	39%
③ どちらともいえない	21	13%
④ やや不満	4	2%
⑤ 不満	1	1%

Q2. 在学中の学修を通じて、以下の知識・能力について、どの程度身についたと思いますか。

各項目について、該当する番号を以下の表に記入してください。

項目	身に付いた		やや身についた		どちらともいえない		あまり身に付かなかった		身に付かなかった	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.経済活動の仕組みや市場の機能、経済政策の効果といった経済学の基本知識と論理的に思考する能力、および財政学、金融論、国際経済学などといった特定の専攻分野に関する専門知識を身につけている。	54	32%	89	53%	21	12%	4	2%	1	1%
2.情報活用能力、数的処理能力、日本語及び外国語能力、コミュニケーション能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。	47	28%	81	48%	28	16%	12	7%	2	1%
3.他の人々と協働し、社会の一員として行動する能力と責任感を身につけている。	64	38%	78	46%	17	10%	6	4%	4	2%
4.経済学を中心とする大学での学びを通して、現代社会において、職業上及び社会生活上で直面する問題に主体的に対応できる能力と学習の方法を身につけている。	56	33%	84	49%	24	14%	5	3%	1	1%

Q3. 学校生活を振り返って、最も有意義だったと思う学修活動は何ですか。具体的に記入してください。また、その理由も記入してください。(抜粋)

内容
「研究発表大会」チームを組んで大きな事に取り組む経験を得た。
2年間のゼミを通して、いろんな日本経済のことや世界のことを分かりました。
BLP 特別演習。実際に商品を開発し、様々なことを学んだから。
ゼミ。論文の書く際に情報を集め、客観的に分かりやすくまとめる力がついた。
ゼミだと考えます。資料収集の方法や発表等、有意義に学ぶことができたから。
ゼミ活動。中小企業の発展と存立について学ぶことができた。
社会見学、工場見学です。理由は現場で体験することが非常に有意義でした。
就活実践キャンプのおかげで、自己分析はもちろん、面接講座のおかげで無事に就職できたこと。
北京への交換留学。中国語の勉強と異文化に対するコミュニケーション能力を身に付けた。
S コース。深い内容まで学ぶことができたから。

(2) 経済学部経営学科

Q1. 大阪経済法科大学における学生生活にどの程度満足していますか

項目	人数	割合
① 満足	66	46%
② やや満足	54	39%
③ どちらともいえない	20	13%
④ やや不満	5	2%
⑤ 不満	1	1%

Q2. 在学中の学修を通じて、以下の知識・能力について、どの程度身についたと思いますか。

項目	身についた		やや身についた		どちらともいえない		あまり身に付かなかつ		身に付かなかつた	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 経営学を中心とする幅広い専門知識を身につけている。	41	28%	76	53%	22	15%	4	3%	1	1%
2. 企業をはじめとする組織の経営問題を理解し、その解決の方法を考える力を身につけている。	38	26%	77	52%	29	20%	3	2%	1	1%
3. 日本語及び外国語の活用能力、数的処理能力、情報活用能力とともに幅広い教養及び国際感覚を身につけている。	46	31%	55	37%	34	23%	8	5%	4	3%
4. 他の人々と協働し、企業をはじめとする組織の一員として活躍できる能力を身につけている。	42	29%	65	44%	33	22%	4	3%	3	2%

Q3. 学校生活を振り返って、最も有意義だったと思う学修活動は何ですか。具体的に記入してください。(抜粋)

内容
BLP 特別演習。実際に商品を開発し、様々なことを学んだから。
BLP 社会人の方々と共にして企画することで様々なことを学べた。
キャリア演習に多い有用な能力を身に付け、将来のどこかに役立ちと考えております。
BLP での活動、社会人との関わりの中で目的意識や主体性など座学では学べないことを学ぶことができた。
研究発表大会自分自身の考えを経営や経済に固めてしまっている人が多いと感じた。
卒業論文と書き上げるまでの個人での研究活動。
卒業論文の作成が有意義だった。あまり知らなかった CSR について細かく調べられたし、日本と海外 (欧米) の違いが分かった。
留学初めて海外へ行き、新しい考え方や視野を身に付けることができた。
メンター・・・一番自分の楽しく過ごせた時間です。とてつもなく3年間有意義に過ごせました。
日商簿記2級の資格勉強、なかなか合格できず苦労したから。

(3)法学部法律学科

Q 1. 大阪経済法科大学における学生生活にどの程度満足していますか。

項目	人数	割合
① 満足	75	46%
② やや満足	80	39%
③ どちらともいえない	41	13%
④ やや不満	7	2%
⑤ 不満	8	1%

Q 2. 在学中の学修を通じて、以下の知識・能力について、どの程度身についたと思いますか。

項目	身についた		やや身についた		どちらともいえない		あまり身に付かなかつ		身に付かなかつた	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.自由、平等、民主主義なその価値原理を基礎とする、法と政治に関する基本的専門知識を体系的に理解している。	75	36%	90	43%	34	16%	6	3%	5	2%
2.個人から国家に至るまで当事者の間で発生する諸課題を理解し、法的処理・技能をもとにして、多様な価値観や利害関係に適した解決策を考える力を身につけている。	70	33%	87	41%	40	19%	9	4%	4	2%
3.グローバル化する現代社会の一員として、他者と協調・協働できる能力を身につけている。	67	32%	84	40%	48	23%	8	4%	3	1%
4.論理的な思考力と豊かな表現力とともに幅広い教養および実践感覚を身につけている	74	35%	88	42%	40	19%	3	1%	5	2%

Q 3. 学校生活を振り返って、最も有意義だったと思う学修活動は何ですか。具体的に記入してください。(抜粋)

内容
Sコース(公務員)を学べた事。また、分からなかった時にきっちりと教えてくれたのが良かった。
Sコース(司法書士講座・法職基礎講座)基礎を身に付けることができた。
Sコースなどで公務員試験のための学習の環境がとてもよかった。
インターンシップ実際に仕事を体験できるだけでなく、マナー講座もあり、就職前に必要な事を学べたから。
ゼミが最も有意義でした。1.2.3年で学んだ事と駆使して論文を作り上げていく過程では、復習にもなりましたし、相手に伝える文章作りが学べました。
政治学系で行ったストラテジゲーム。人のしがらみ、今後の友情、成績など、いろいろ考えさせられた。一番ユニークな授業でゲームを取り入れた新鮮な授業でした。
Sコース(公務員)を学べた事。また、分からなかった時にきっちりと先生方が教えてくれ、とても良かった。
学生研究発表大会での課題研究。
教職課程の履修。